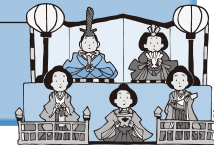


学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



高校生が「内陸線「美食ランチ」」を提供 ～高校生クッキング・トレイン2016～

「高校生クッキング・トレイン～未来応援シンポジウム～」が、2月13日に秋田内陸線の鷹巣～角館間の貸し切り列車を利用して行われました。講師に、テーブルヒルズ・キッチン主宰の山本幸夫さんを迎え、講話をいただいたほか、秋田北鷹高校家庭クラブと角館高校家庭系コースの代表チームによるプレゼンテーションが行われました。「内陸線をアピールできる“お弁当ランチ”」をテーマにした料理作品の試食では、高校生の若いアイデアが生かされたメニューが提供され、講師から

は地元の食材を良く調べ、味つけも工夫しているなど、商品化の可能性へ向けた講評もありました。



▲高校生が創作したランチを試食する参加者たち

「青少年育成運動活性化研修会」 ～青少年育成北秋田市民会議～

県北地区の子ども・若者活躍推進事業取組発表会「青少年育成運動活性化研修会」が、2月6日に交流センターで開かれ、県が助成している団体の取組発表や伝承芸能発表などが行われました。取組発表では、板谷大樹さん（まちおこしNPOオモシエナ）や丸岡正則さん（青少年育成鹿角市民会議事務局）が、人とのつながりや家族との交流について語り、青少年の積極的な地域活動参画の波及効果について理解を深めました。また、子ども伝承芸能発表では「上舟木駒踊り」

を鷹巣南小学校の児童が演じ、戦国時代の合戦で戦う騎馬の様子を力強く表現し、会場を沸かせました。



▲「上舟木駒踊り」が披露された伝承芸能発表

地方史研究に理解を深める ～合川公民館「ろばた講座」～

平成27年度第1回「合川ろばた講座」が、1月27日に合川環境改善センターを会場に開催されました。今回の講座は「地方史研究における課題について」と題し、北秋田市教育委員長の永井高道さんを講師に迎え、講演を行いました。永井さんは「北秋田市が合併11年目を迎えるにあたり、そろそろ市史編纂の準備に取りかからなければならない時期だと思う」と述べ、良質な市史の編纂にどれだけの時間がかかるかを説明されました。また、歴史用語の解説を交えながら古文書の保存

について解説され、参加した約70人の市民が熱心に耳を傾け、学習を深めました。



▲地方史をテーマに学習を深めた「ろばた講座」

学びの広場

**Gちゃんサミットin北秋田市
パート4×東京大学「入場無料」**
開申 生涯学習課 ☎62・1130
 テーマ「知る・学ぶ」から「行動」へ！
 今回は東京大学と連携して開催します。まだまだ元気な高齢者による地域貢献活動の魅力を探りましょう。
日時 3月13日(日) 9時30分～16時
会場 中央公民館
内容 《事例発表》佐藤俊晃さん(北秋田市)、今薫さん(弘前市)、関福夫さん(愛媛県新居浜市)／《基調講演》水畑順作さん(厚生労働省)／元気団体ステージほか
開申 浜辺の歌音楽館 ☎72・3014
日時 3月19日(土) 13時～
出演 浜辺の歌音楽館少女少女合唱団、はまべのうたキッズ、M・M・C
会場 浜辺の歌音楽館
入場料 無料
今月のおすすめの本を紹介!
開申 鷹巣図書館 ☎62・3311
 ▽生きる力 知恵の力(白川好光著)
 ▽サワコの朝(阿川佐和子著)
 ▽お伊勢まいり(平岩弓枝著)
 ▽KANON1931海の向こうの甲子園(ウェイ・ダーシオン脚本)

生涯学習課からのお知らせ
開申 生涯学習課 ☎62・1130
施設利用料減免登録申請
 各公民館及び「ふれあいプラザ」の平成28年度減免登録(カード登録)の申請を受け付けます。
受付開始 3月1日(火)から
受付場所 利用される施設の窓口
 ※ふれあいプラザの申請は中央公民館で受け付けます。
開申 生涯学習課 ☎62・1130
高校生書道パフォーマンスと書き初めのつどい「作品展」
開申 生涯学習課 ☎62・1130
 1月31日に開催した「高校生書道パフォーマンスと書き初めのつどい」の作品展を開催します。
期間 3月28日(月)～31日(木)
時間 《28日》17時～19時
 《29日～31日》9時～19時
会場 中央公民館ホール
開申 合川公民館 ☎78・2114
合川公民館第3回は「ろばた講座」
日時 3月24日(木) 13時30分～
会場 合川公民館
演題 山のめぐみを、おすそ分けつ。～山菜採り代行サービスを始めよう～
講師 栗山奈津子さん(株式会社あきた森の宅急便代表取締役)
 ※申し込みは不要です。

ふるさとの文化財

「縄文時代編」

3月3日は耳の日です。今回は耳にちなみ縄文時代の「耳飾り」を紹介しします。

〇土製耳飾り (森吉二重鳥B遺跡出土)

左の写真は、直径6cm、厚さ1cmの円形の耳飾りです。ちょうどビンの蓋のような形をしています。耳たぶに開けた穴にはめ込むタイプのもの、今風に言えばピアスです。

側面の中央が列車の車輪のようにくびれていて、このくびれを耳たぶの穴に引っ掛けて装着したものです。表面は「三叉文」(アルファベットの「Y」の字のような文様)をアレンジした渦巻文様で飾られています。



▲土製耳飾り

二重鳥B遺跡では、耳飾りが破片も含めて194点見つかりました。直径1cmほどの糸巻きのような形のものから、最大9cmの環状のものまで様々な形の耳飾りがあります。

小さいものから着け始め、成長して、年齢を経るとともに次第に大きなものへ着け替えられていったものと考えられます。直径が6cmを超える環状のものも多く、この種の耳飾りを着けた人は耳たぶに大きな穴が開いたような状態ではずすと耳たぶは自転車のタイヤのチューブのようになっていたと思われる。

二重鳥B遺跡では、この耳飾りを装着した様子を見た出土品が出土しており、それについて紹介いたします。



▲様々な形の耳飾り

▽紹介者/北秋田市教育委員会生涯学習課文化係